

「スカウトの日」活動内容のご紹介

地域清掃や植林活動、社会福祉施設の訪問など敬老の日になんだ活動、人権・平和・国際理解をテーマとした活動、地域のニーズによる地域の方々と共に行う身近な奉仕活動、また、持続可能な開発目標（SDGs）を達成するための活動などが、積極的に行われることを奨励しています。過年度の活動報告から、活動テーマに沿った活動をご紹介します。毎年作成し、全団に送付している「スカウトの日」実施報告書もご覧いただき、隊や団の活動計画の参考にご利用ください。

環境保全・環境美化の活動

地域清掃や近隣の街路樹植樹などの環境美化活動に長年取り組んでいます。近年では地元 NPO と協力した河川の生態調査やマイクロプラスチック回収なども実施しています。

19年もの期間、テーマ「スカウトカントリー（岳トリー）大作戦」を掲げ、地域に密着した清掃活動を続けてきたことから、現在も67%の団がこの活動分野を選択しています。

<事例紹介> - 宮崎連盟 日向第6団 -

9月にオンライン集会でSDGsについての事前学習を行い、翌10月に地元のまちや豊かできれいな海岸線のペットボトル回収を行いました。



社会奉仕活動

環境とはまた異なる分野の社会問題に対する支援や協力も取り組みの一つです。実施日が敬老の日であることからデイケアセンターなどの訪問なども昔から取り組んできました。

環境保全に次いで17%がこの活動分野を選択し、養護老人ホームとの交流イベントの実施、市民運動会や障がい者スポーツ大会の奉仕、防災イベントのプログラム提供などを行っています。

<事例紹介> - 新潟連盟 長岡第1団 -

コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくす取り組みであるシトラスリボンプロジェクトに賛同し、スカウトの日の団行事としてメッセージボードを作成、展示しました。



一般児童を招待して展開する活動

スカウト活動を知っていただく機会として、広く一般児童やご家族に対して展開する活動にも取り組んでいます。地元イベントに出展協力したり、団独自でイベントを開催しています。

地区や団におけるスカウト体験活動を展開する内容が多く、防災キャンプ、丸太切り、ロープ結び、スタンプラリーなどその内容は多岐にわたっています。

<事例紹介> - 千葉県連盟 流山第3団 -

市内の公立小学校17校の1,2年生の一般児童を対象にチラシを配布し、児童やその保護者、各隊スカウトを含めた80人が参加した、「森の大運動会」を開催しました。



国際貢献に関する活動

人権・平和・国際理解を目的として、諸外国と関わりのある NPO との協働プログラムや世界の環境破壊・絶滅危惧の動植物への理解を深めるプログラムにも積極的に取り組んでいます。

長年協力しているユニセフ募金の取り組みを本活動として実施する他、友好団とのプログラム、難民支援衣料回収プロジェクトへの参画として衣類回収協力も行っています。

<事例紹介> - 沖縄県連盟 豊見城第1団 -

兄弟隊の BSA カブ1 隊を招いて、日米協働で近隣清掃を行いました。最後に国際交流ソーメン流し & かき氷大会を実施して日本の食文化を紹介しました。(2019 年度活動より)



災害復興支援の活動

全国各地で、また海外でも気候変動や自然の脅威による災害が発生しました。自分たちにできる取り組みとして、現地でのボランティア活動に限らず、義援金・支援募金も多く実施しています。募金活動や衣服の回収プロジェクト、献血への取り組み協力など、少しずつ対面での取り組みが増えてきました。このような取り組みが当たり前になる社会になってほしいですね。

<事例紹介> - 東京連盟 青梅第2団 -

緊急事態宣言が解除される9月末をまって、活動エリアの近隣駅で赤い羽根共同募金を行いました。その後、地域の環境整備やごみ拾い活動も行いました。



各団、地区、県連盟の独自の活動

地域ごとの文化や歴史に応じた多彩なプログラムに加え、スカウト一人ひとりが今の地球上に起こっている問題について考え、行動することを期待して独自性に富んだ活動も推奨しています。他の活動分野とも関連付けて 10%の団が独自の活動を実施し、炊き出しやサーフ・フロム・ハームの読み聞かせ、活動資材を使った環境マークプログラムなどに取り組んでいます。

<事例紹介> - 愛知連盟 弥富第1団 -

ペットボトルや牛乳パックを使った工作を通じて、ごみとするのではなく、再度使えるものに作り替える取り組みなど、環境保全について学習しました。



(2022.06.22)